
2026年3月期第2四半期 決算説明資料

2025年11月6日



1. 26/3期第2四半期決算サマリー	…	P3
2. 連結売上高	…	P4
3. 売上総利益推移・営業利益の増減要因	…	P6
4. 連結受注高	…	P7
5. 連結貸借対照表	…	P10
6. 連結キャッシュ・フロー	…	P11
7. 26/3期計画サマリー	…	P12
8. 株主還元	…	P13
9. サステナビリティ	…	P14
10.大阪・関西万博と今後のチェコとの取り組み	…	P16

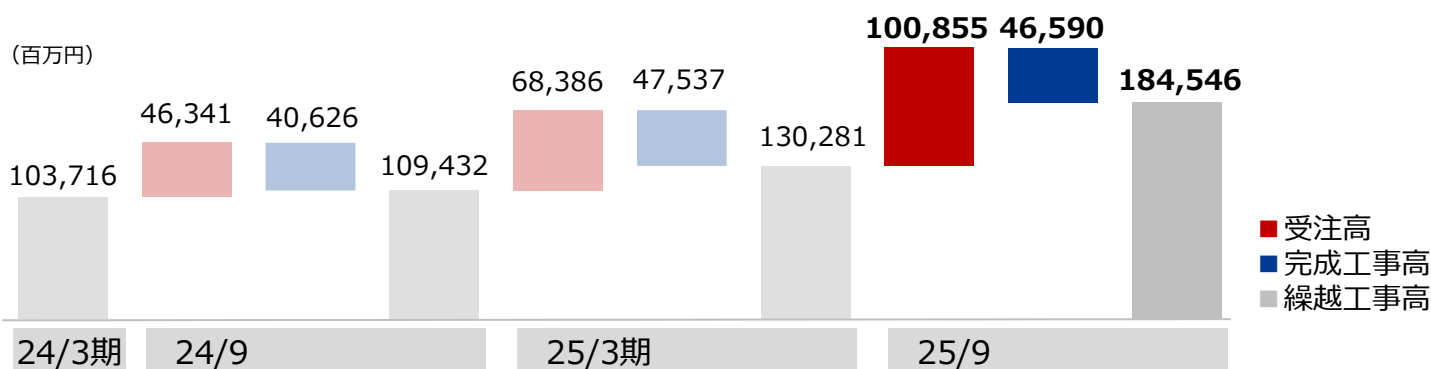
1.26/3期第2四半期決算サマリー

連結 受注高

100,855百万円（前年同期比 +117.6%）

受注高は、複数の大型案件の受注が寄与し、前年同期比117.6%増加の100,855百万円と第2四半期末で1,000億円超を確保

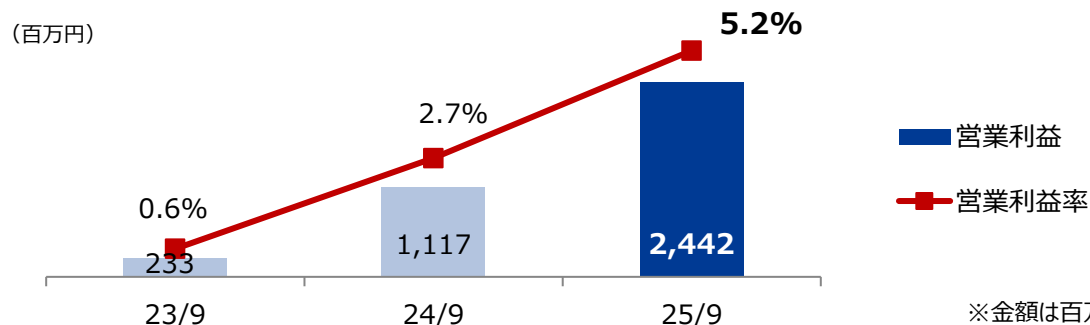
ご参考：（前期末）繰越工事高+受注高-完成工事高=（当期末）繰越工事高



連結 営業利益額

2,442百万円（連結営業利益率 5.2%）

連結営業利益は、売上高の増加および工事採算の良化により前年同期比118.5%増加の2,442百万円
営業利益率は2.5ポイント良化し、5.2%まで上昇



※金額は百万円未満を切捨てて表示しております

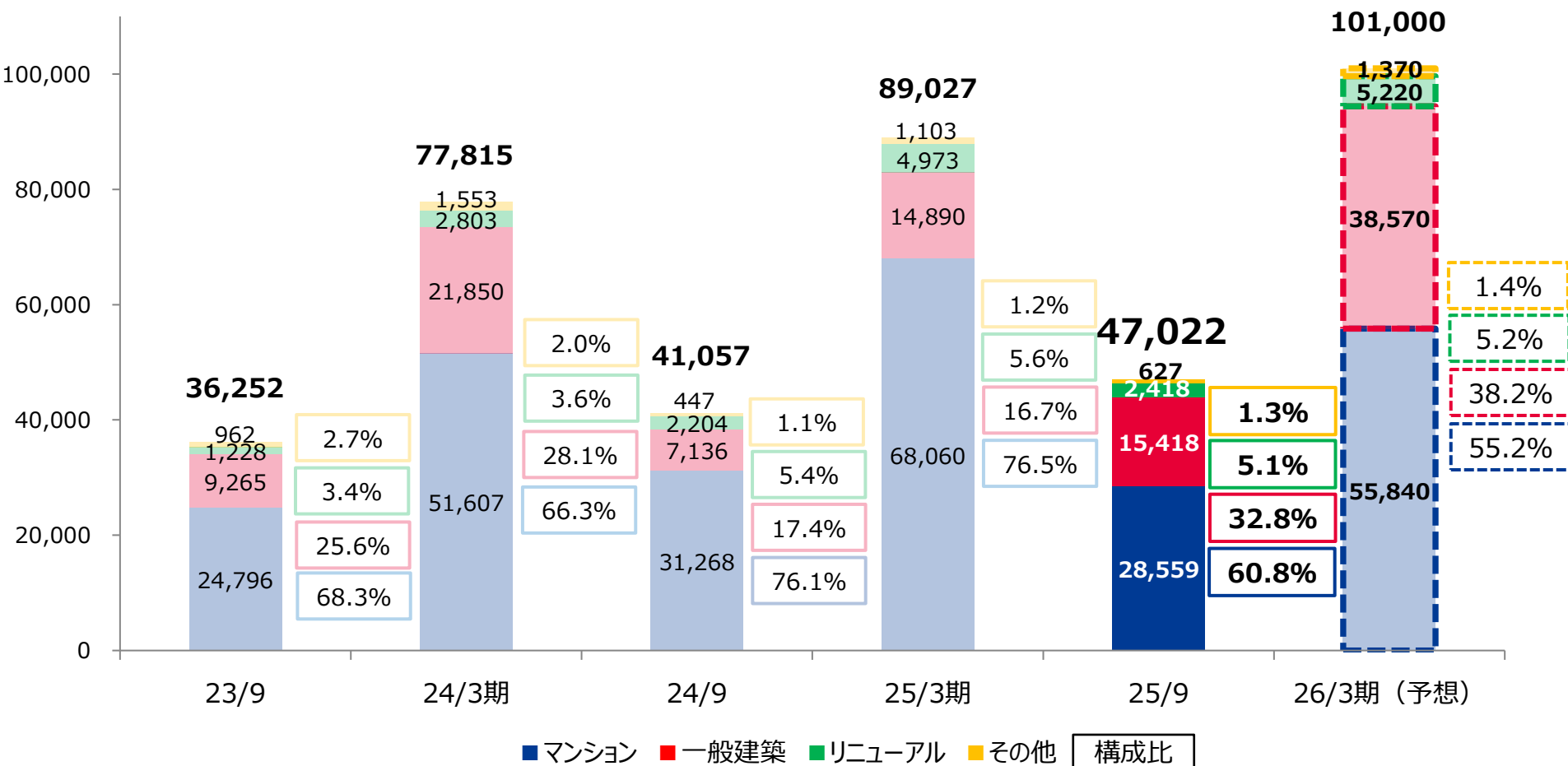
2.連結売上高

2-1.連結売上高推移

前年同期比14.5%増加の47,022百万円

潤沢な繰越工事高に加え、受注高の増加により、通期は101,000百万円を見込む

(百万円)



2.連結売上高

2-2.主な完成工事



アトラスシティ千歳烏山グランスイート 杜ノ棟・風ノ棟
給田北住宅マンション建替組合／東京都



ザ・ライオンズ覚王山
株式会社大京／愛知県



神戸ジェームス山 中楽坊
マスターズライフ株式会社／兵庫県



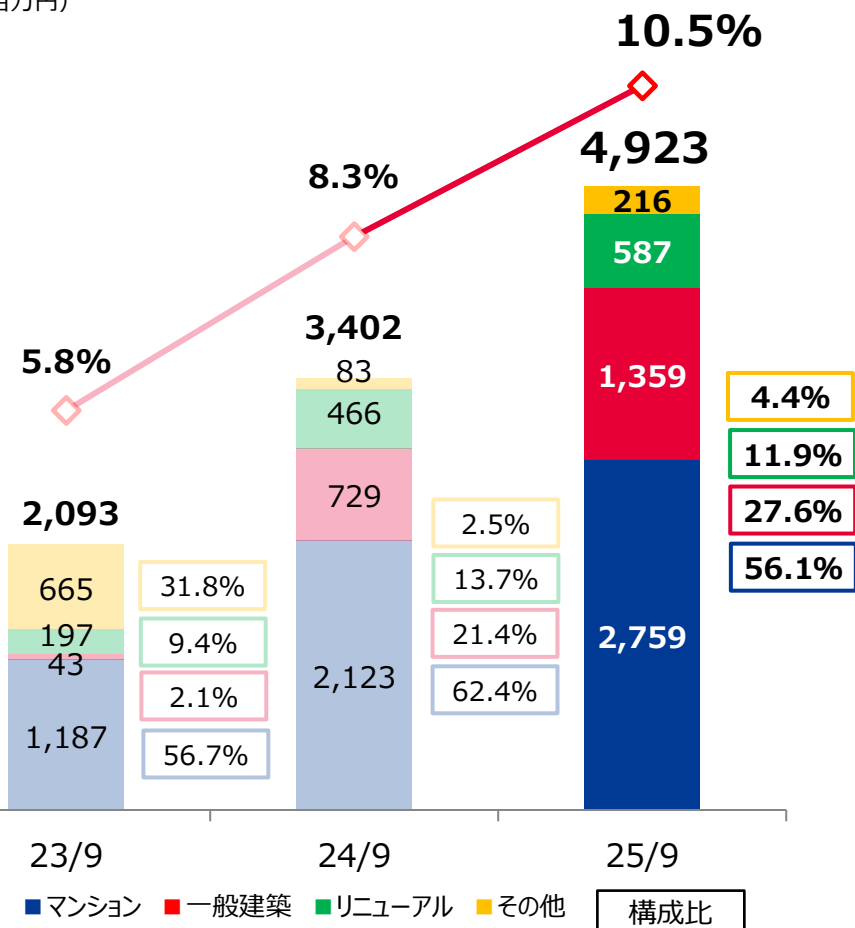
アルファステイツ仙台東照宮
穴吹興産株式会社／宮城県

3.売上総利益推移・営業利益の増減要因

一般建築の売上高増加に加え、マンション・リニューアルの工事採算良化により、売上総利益は前年同期比44.7%増加の4,923百万円、営業利益は前年同期比118.5%増加の2,442百万円

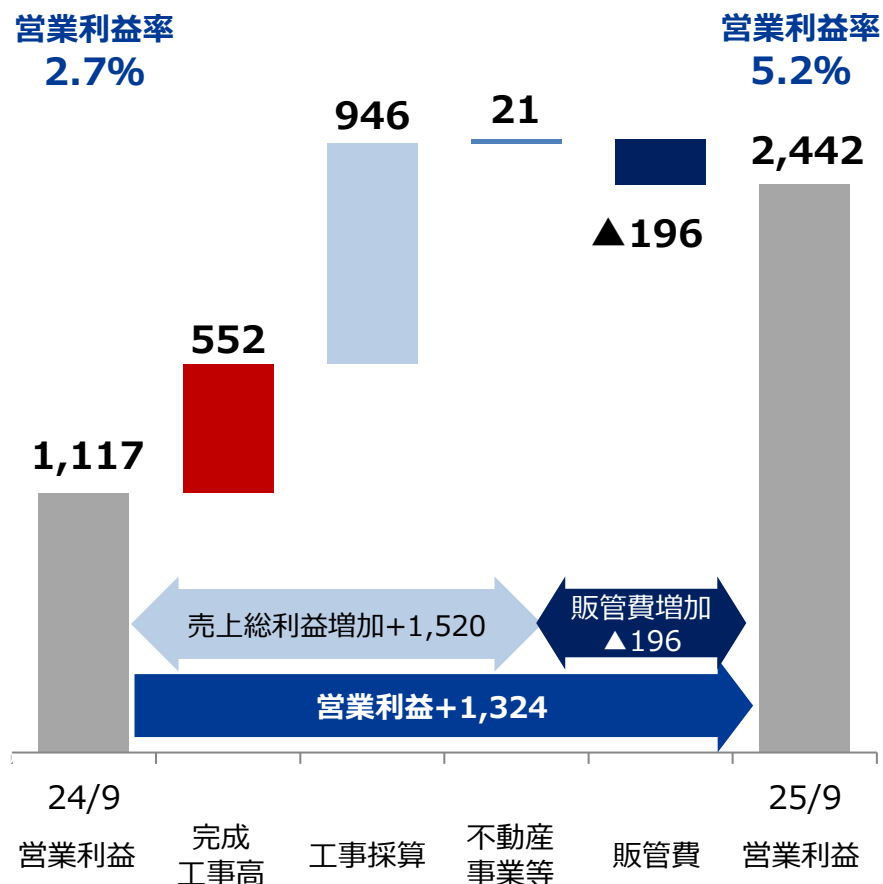
売上総利益推移

(百万円)



営業利益増減

(百万円)

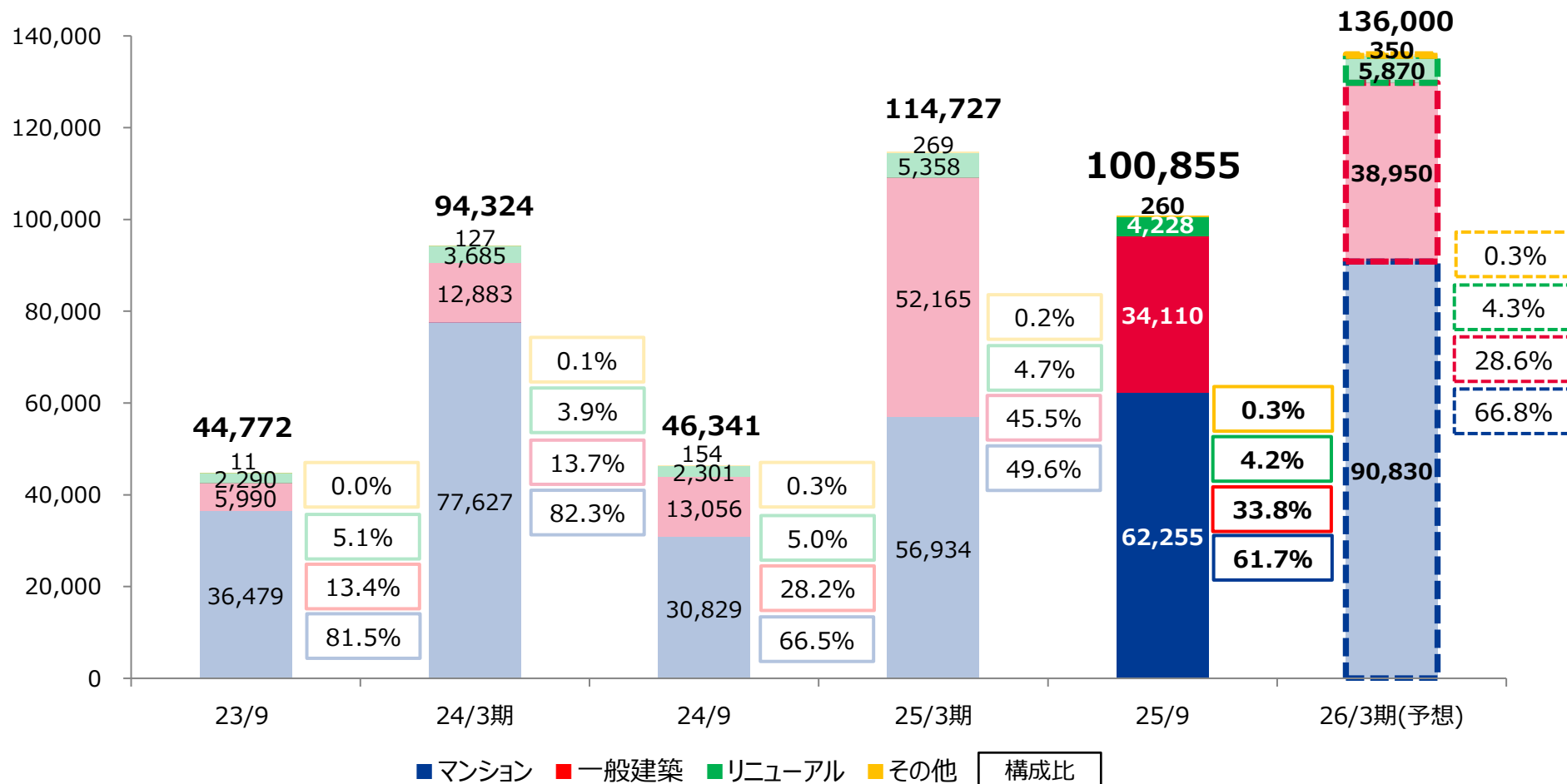


4.連結受注高

4-1.連結受注高推移

複数の大型案件の受注により、前年同期比117.6%増加の100,855百万円
通期は期初予想の117,300百万円を修正し、136,000百万円を見込む

(百万円)



4.連結受注高

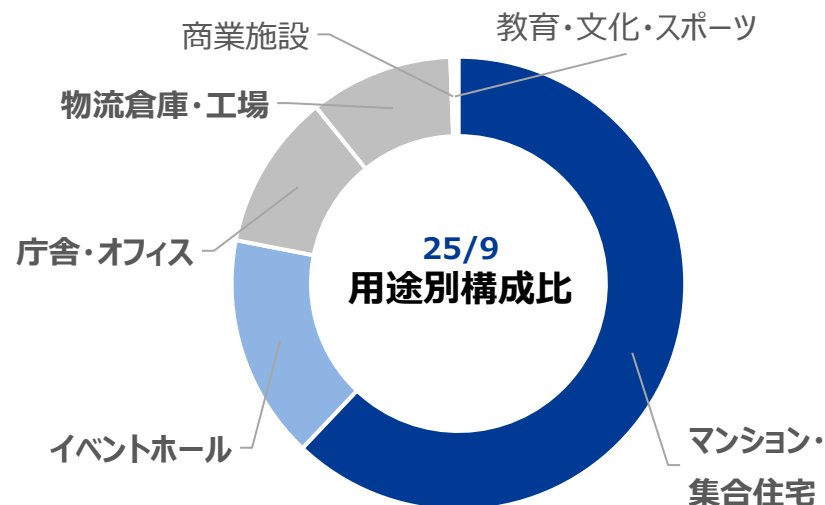
4-2.連結受注高内訳

用途別 マンション・集合住宅で倍増、他の用途でも大幅増加

(百万円)

No.	用途	23/9		24/9		25/9	
			構成比		構成比		構成比
①	マンション・集合住宅	36,681	82.0%	31,212	67.4%	62,602	62.1%
②	イベントホール	56	0.1%	1,400	3.0%	16,132	16.0%
③	庁舎・オフィス	1,990	4.4%	1,373	3.0%	11,219	11.1%
④	物流倉庫・工場	3,192	7.1%	1,608	3.5%	10,320	10.2%
⑤	商業施設	1,149	2.6%	10,293	22.2%	257	0.3%
⑥	教育・文化・スポーツ	74	0.2%	238	0.5%	45	0.0%
⑦	医療・福祉・高齢者住宅	1,614	3.6%	54	0.1%	10	0.0%
⑧	その他	12	0.0%	160	0.3%	265	0.3%
合計		44,772	100.0%	46,341	100.0%	100,855	100.0%

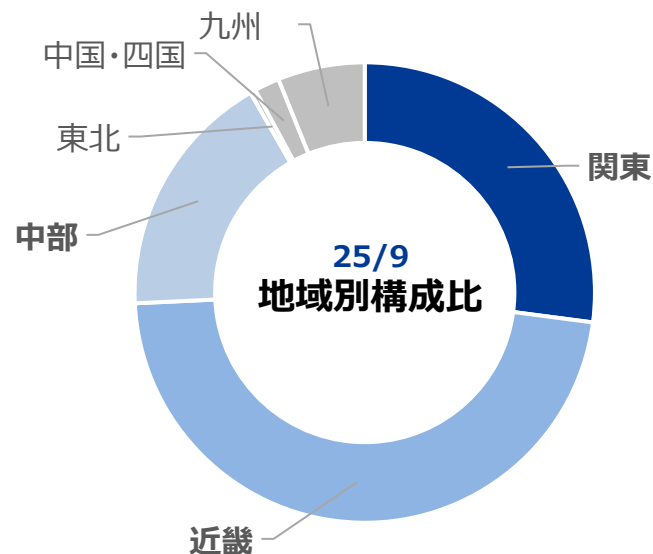
※リニューアル工事は建物用途に応じて分類



地域別 三大都市圏で大幅増加

(百万円)

No.	地域	23/9		24/9		25/9	
			構成比		構成比		構成比
①	関東	12,105	27.0%	14,130	30.5%	27,306	27.0%
②	近畿	7,350	16.4%	17,855	38.5%	47,583	47.2%
③	中部	13,785	30.8%	7,995	17.3%	17,626	17.5%
④	東北	1,971	4.4%	8	0.0%	385	0.4%
⑤	中国・四国	4,643	10.4%	2,456	5.3%	1,781	1.8%
⑥	九州	4,915	11.0%	3,894	8.4%	6,171	6.1%
合計		44,772	100.0%	46,341	100.0%	100,855	100.0%



4.連結受注高

4-3.主な受注工事

都道府県コード順で表示しております

発注者名	物件名（工事名）	地域		用途	
		都道府県	No.	用途名	No.
川越開発特定目的会社	DPL川越	埼玉県	①	物流倉庫	④
株式会社三菱UFJ銀行	MUFG本館 ※	東京都	①	オフィス	③
三菱UFJ信託銀行株式会社	三菱UFJ信託銀行社員寮	東京都	①	寮・社宅	①
積水ハウス株式会社	グランドメゾン錦二丁目	愛知県	③	マンション	①
MGM大阪株式会社	(仮称)大阪IRプロジェクト ブロックC新築工事 ※	大阪府	②	展示場・会議場	②
株式会社クボタ	クボタ枚方 A・B棟BCP対策	大阪府	②	工場【改修】	④
株式会社フージャースコーポレーション 南海不動産株式会社 大阪ガス都市開発株式会社	堺市中区水賀池公園共同住宅	大阪府	②	マンション	①
九電不動産株式会社 西日本鉄道株式会社	グランドオーク浦上テラス ※	長崎県	⑥	マンション	①

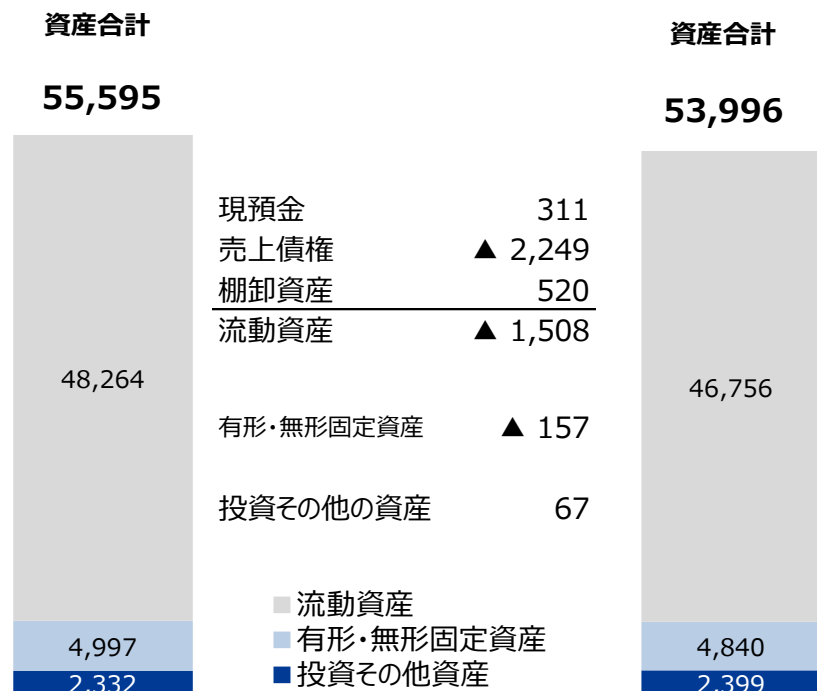
※ 共同企業体によるもの

5.連結貸借対照表

資産の部では、売上債権（完成工事未収入金及び契約資産、電子記録債権）の減少により、流動資産が減少。負債・純資産の部では、仕入債務（工事未払金、電子記録債務）等の減少により、流動負債が減少

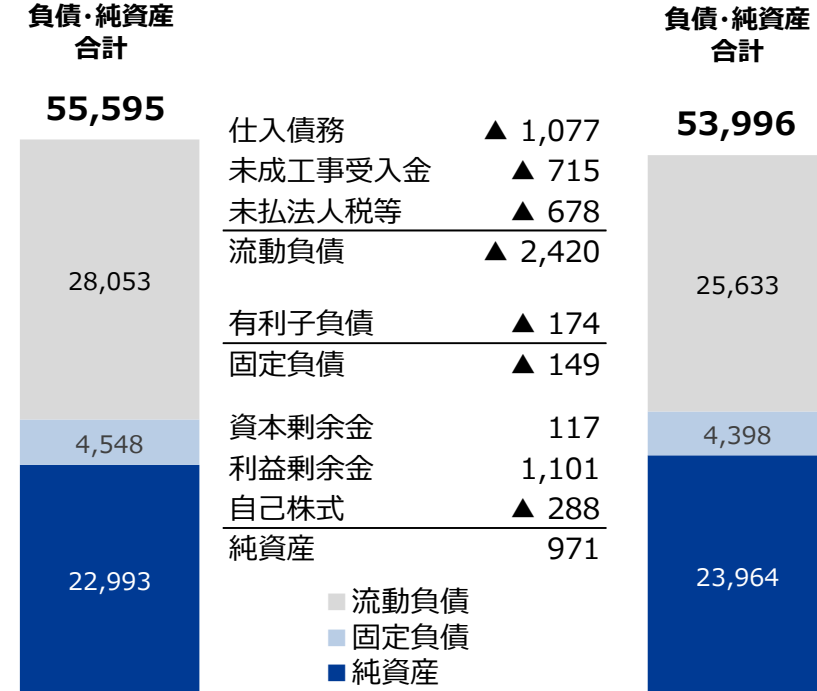
■資産の部 ▲1,598

(百万円)



■負債・純資産の部 ▲1,598

(百万円)

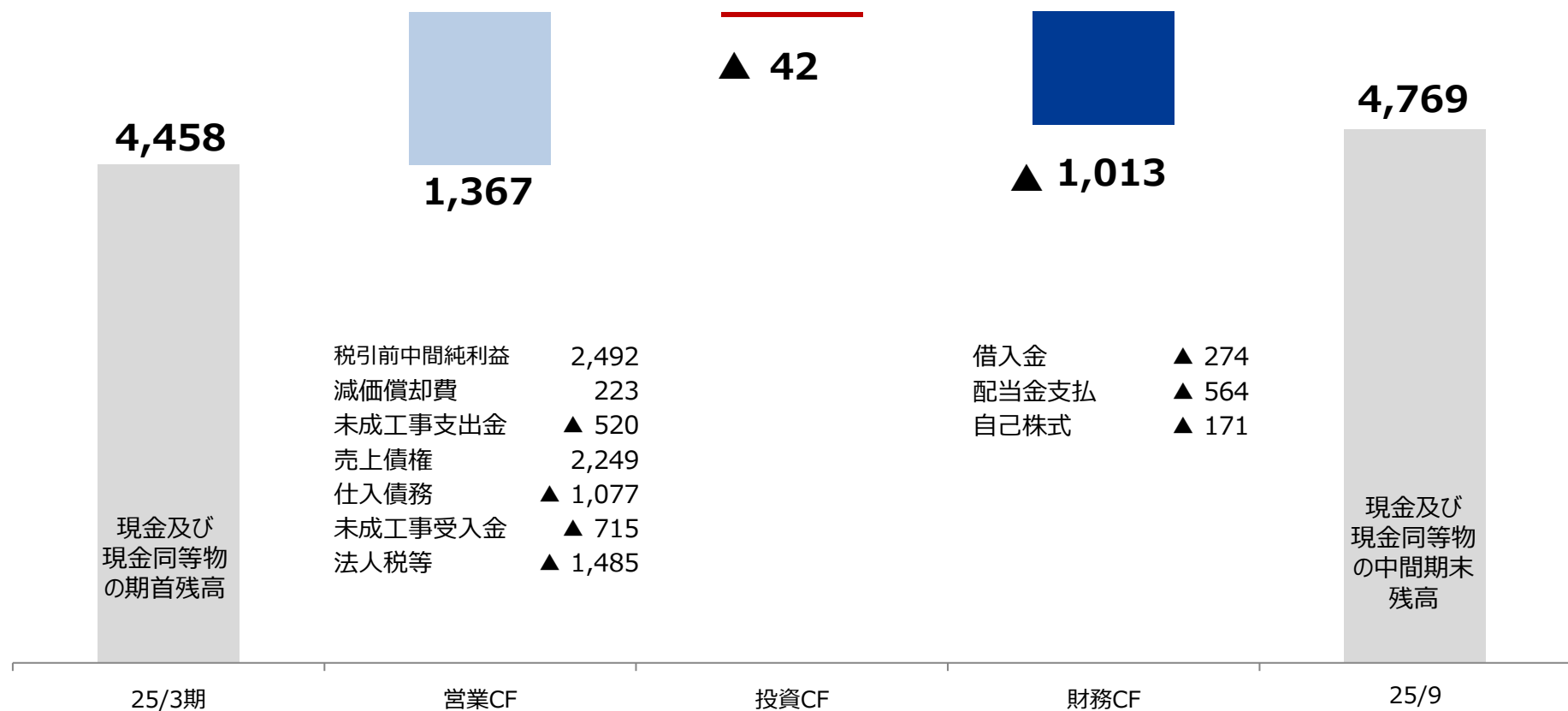


自己資本比率	25/3期	25/9
	41.4%	44.4%

6.連結キャッシュ・フロー

税引前中間純利益の計上および売上債権の減少等により営業キャッシュ・フローは1,367百万円
 配当金の支払いおよび借入金の返済により財務キャッシュ・フローは▲1,013百万円
 現金及び現金同等物の中間期末残高は、期首残高から311百万円増加し、4,769百万円

(百万円)



7.26/3期計画サマリー

連結 受注高

136,000百万円（前年同期比 +18.5%）

上期の受注状況を踏まえ、期初予想から18,700百万円増加の136,000百万円を見込む

（百万円）

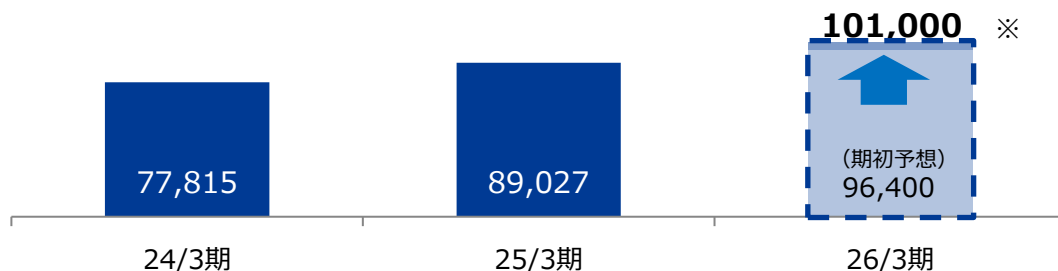


連結 売上高

101,000百万円（前年同期比 +13.4%）

受注高の増加により、期初予想から4,600百万円増加の101,000百万円を見込む

（百万円）

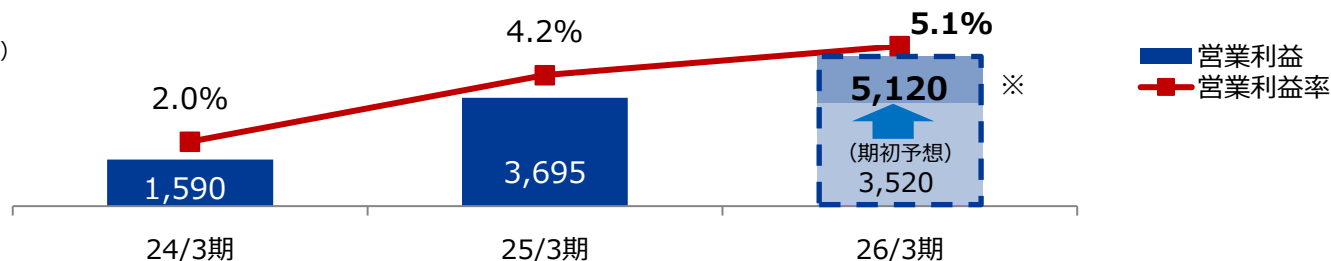


連結 営業利益額

5,120百万円（前年同期比 +38.5%）

売上高の増加および工事採算の良化により、期初予想から1,600百万円増加の5,120百万円を見込む

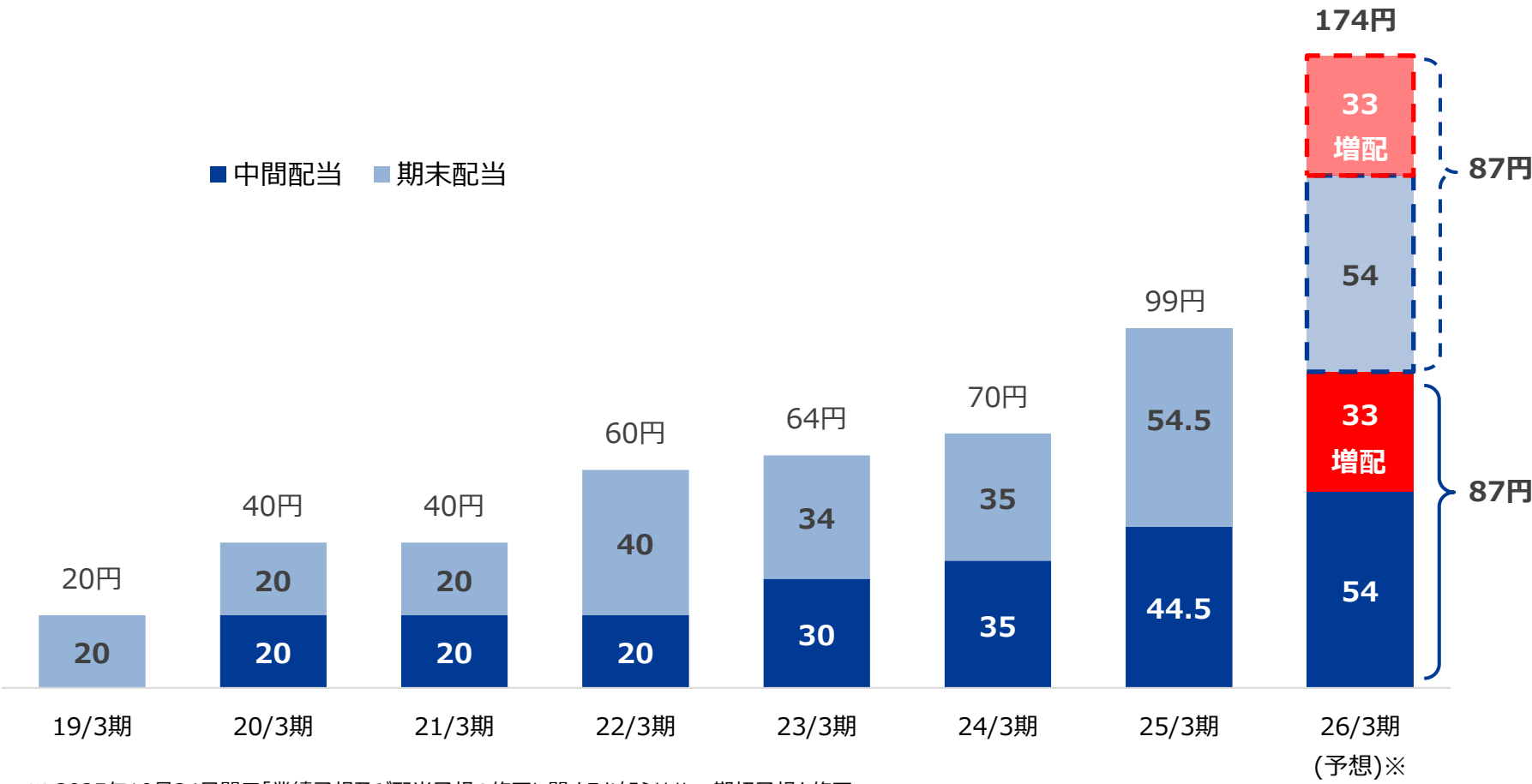
（百万円）



※ 2025年10月24日開示「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」にて期初予想を修正

8.株主還元

26/3期の中間配当、期末配当予想は、それぞれ54円から33円増の87円に修正し、年間174円（期初予想から66円増）と、**5期連続増配**を見込む



9.サステナビリティ

9-1. 重要課題（マテリアリティ）の進捗状況

サステナビリティの重要課題について、設定したKPIの進捗状況は以下の通り

主な取り組み（抜粋）		25/3期 実績	25/9 実績
環境			
気候変動に対する取り組み			
温室効果ガスの排出抑制	Scope1・2排出量	5,872.2t-CO2 (排出原単位：6.8t-CO ₂ /億円)	3,609.7t-CO2 (排出原単位：7.8t-CO ₂ /億円)
ZEB/ZEH/木造建築の推進	設計施工での ①ZEB/ZEH/木造化提案率 ②ZEB/ZEH認証取得及び木造での受注件数	—	①100% ②1件
環境に配慮した事業活動			
建築副産物の削減	発生原単位	7.8kg/m ²	7.6kg/m ²
社会			
ワークライフバランスの推進			
男性の育休取得推進	育児休業および育児目的休暇の取得率	100%	80.0%
労働安全衛生の確保			
労働災害の抑制	度数率（休業4日以上）	0.87	0.71
ダイバーシティの推進			
女性管理職の増加	女性管理職の割合	8.5%	8.7%
女性従業員の増加	女性従業員の割合	14.1%	14.5%
経験者（中途採用者）の増加	新規採用に占める経験者の割合	45.1%	33.8%

9.サステナビリティ

9-2. サステナビリティ課題への取り組み

SDGsの推進を目的に開催されたFC大阪主催の「SDGs スペシャルマッチ in collaboration with UN Pavilion」に、当社の代表取締役社長 村尾和則が参加し、国際連合、FC大阪と、SDGsの現状や企業による取り組み等に関する意見交換を行いました

当社では、2030年ビジョンに掲げる「安心と喜びあふれる空間を創造する会社」の実現に向け、さまざまなステークホルダーと協働し、サステナビリティ課題の解決に取り組んでまいります



【SDGsボールを使用したキックインセレモニー】

写真中央：国連事務次長補 兼 2025年大阪・関西万博 国連陳列区域代表 マーヘル・ナセル 氏

写真右：当社 代表取締役社長 村尾和則



大末建設はFC大阪のトップパートナーです



10. 大阪・関西万博と今後のチェコとの取り組み

戦略的パートナーシップ契約に基づき、万博終了後も、チェコ共和国の大阪・関西万博政府代表事務局の協力のもと、建材利用などのビジネス展開を検討

また、パビリオン内の「大末ホール」の特性を活かし、関西学生アカペラ大会の開催するなど、知名度向上に向けた活動を実施



パートナーシップ契約締結

パビリオンでのロゴ掲示

イベントの様子

安心と喜びあふれる空間を創造する会社



大末建設